食権問題について要談、午後三時

【○○裁垣古田日間盟】六月十八一わが地上砲火なごれを傾近、窓台 日芋ルパート諸原方間に演奏を刺 その一機を破滅。一機を炎上をし して腕コンソソテーテツド型軍域。め機を翻送した

を試みたが、わが万は採用量にで

乙を指提、地上配火で一機を膨墜

ワシントン來覚によれば、陸軍長」した、整度の日母よ夏景されてるワシントン來覚によれば、陸軍長」した、整度の日母よ夏景されて高十四日後天

した、野波の日時は淡泉されてゐ

フォードエ

| 医液臓を加へたが、圧臓無比なる| 一七重燃酸機三機が夜陰に減じて

ず所蘭遊休電路が未だかく

日々前巡し、或は艦職してある 命令の際に沿って大きく切響

るのである。さうでなくても、 れてあるといった状態が事質が

際電話を所有してある家庭は言

時は短利が不便になることが常 画の一つに相違ない。しかし収

版開なるが故に資産

の途は自ら開かれるといふもの 不可能のことでない。瞬通打開

日暮んで原合すべきである。自

をであらう。

電話はいかにも低

一つの共同権助をもつといった

密社最大の工場といなれるデトロ

デトロイト來電=廿四日フオード 【アエノスアイレス廿四日同盟】

イト市郊外ルバルージン工場に実

らゐは皆然のことである。又瞪

煙の一點に採中されねばならぬ 心ゆる「物」と「心」が成力地

好むと好まざるとに拠らず、

てゐる面が赤池相當に機されて のることも事質である。

既略な

電話供出に協力せよ

差部門の増型改憲といなれる交通権

動員

脈を確立し、

鼻延をして
有 鎌成内容の一環として単進の反応

人東亜威争の現**皮階に対處し政**的

能をして將来の軍務に備へ國防

第二回行政查察北海道

| 個処職者中から任命される 城足で

家の要前に即順せしむること一 程度と作業和目を励案のうへ 動勢助以の期間は學後の領

節制質に必要することゝなり、廿

移職などに属する勤労行政職権・統制官に対する勤労行政職権

育成强化をはがるとともに生産費

查察使に藤原銀次郎氏

川殿下の重要工場に対する行政在「階融門藤原創火郎氏が行政在黎田別相を初の行政査察団として神奈」を實施することとなり、廿二日内

體制確立要網學徒戰時動員

國土防

一般域の決敗化であり、また一動労動員強化の他国において駆徒助員の分野を食糧増減、関い施設建設、

し承點的に集中し各部面に到する勢力、時間の

一助員し得るやうに整備すること、中等級校三年以上の男子に対し

の心身鍛錬の完全を期すため、その版本法を決定したものであり、

薬は多概かる洪賦の財政院において戦害。るこれに原題する艦派を整備、墨鰲、凱織、動領を一難し 頼倉的戦役集成の艦系のもと政府が其態的指約と方明を聴へ・計畫度章を整備しもつて暗局下墓徳の動員艦派を確立した 度に繊維的大事業である、子女に

學園擧げて決戰に突入

佐寒むしめその 心身の 解成を全

皇太后陛下

御誕辰

穀倉の使命を痛感

企業整備に萬全の準備

ではその内臓を次の如く推定して **自席を取ると 包明したが 消息が**

う反阻軸軍に對し要求したことは

及攝動軍が第二配線が路成しない

廿四日の會議は依然たる跡部ぶり

ーロッパに第二版版を結成するや

たが、ワシントン死電によれば、

ノツクス放言

迎へさせられた、この日

欧務然歴は配質器 についたが顕出を削に次の如く間は東京機能 田中 東京総裁『宮士』で一路前任の釜

アメリカ人阿越郷委員長マグネツ「ソビェート「蝦蟇局は東部戦級」用「耐風派ではスターリン議長が第二プエノスアイレス廿四日同盟」「フェノスアイレス廿四日同盟」」はい。と敗武したといはれるが、

來襲敵機三を屠る

ギ島の我地上部隊活躍

は國防都議館の借録成失事性につ

戰死者六萬四千

米損害の一部を發表

キャンペラ來唯一議員野議の不信

で魅行されるが日取りは近く極密

アメリカ陸海軍兵力 目下準備を進めてゐる

は形式的

岡部文相謹話

相は時間下敬称に対し有難き大御 とを無象し恐怖感激して左の如言

【東京館画】阿部文相は廿五日午後一時半宮中に参内

學徒戰時動員體制確立

爾決定をみた単征戦時動員艦制艦

る長的系列としての役職を襲すた。を附駆決定、近く有計能に極られ、一部が行うして大東部職等におけ、委員會第二面名職作職におけ、監員會第二面名職作職におけ、監員會第二面名職作職におけ、監督、 【南京甘豆日同盟】國民政府は版一め令回戴時頃産三ケ年前※ぞ樹立 國府の戦時増産三ケ年計畫

行政官廳職權

委職令改正

| 殿殿撮影戦今(親令)を公布に東京電話」 政府は去る一月行

著ウロドルベ・W 譯雌 勇 迫 福

獨逸近代兵器工

ソンプー・

定例閣

Ŀ 村

保합相以下金融低出品関節文相よの電相以下の大時より首相登越に開催。東 細説例のよちこれを決

閣議決定事項ー、切

春すぎし

佐藤惣之助

機能決定正午敬自

ŋ 佐藤垢石

外務一時(世)目)

近

しての後 後

鶣

準備手臂)に関する地方長

海軍司政官(廿五日) 南工智即日 爆斗 医 Ħ

待望の 大東亞

一尉衛 **興平中尉 共著**

區谷四市京東 地番四町木荒

最適別 前田光 世の世界制調 | PR記 | 同二・五〇日本 | 前田光 世の世界制調 | の流快速りなな快海田 新雲 著 京東祭禄 房

水の生活科 段字 アート刷 三二頁水の生活 科 改字 アート刷 三二頁水の生活 科 改字 アート刷 三二頁水質を生物・水と藍梁・水の竪鏡・水の目祀・塵水質を生物・水と遮梁・水の竪鏡・水の目祀・塵水質を受ける。

二秀

大の感激を異へるであらう。

接額また指揮機器たるものである。際版出来既な難順で魅了する好評の釣名、職難用で、たる影をふくみ、豊富な問題を携げ、に妙問たる影をふくみ、豊富な問題を携げ、に妙問 と融け合つて開花せる体美の詩流。庭園出次東で古い日本と即含さっならい文単的利自文東で古い日本と即含さっならい文単的利自文東で古い日本と即含さっない。 〇二名語 〇八•二各

小朽の窓の一大血戦器 で放つ彼の「勇猛日本」 房

■ 1-100次三項 | 1-100次三项 | 1-100x三项 | 1-100x

京東座口登版 九二一七四一

関が関する。中々の質が成員人
江後郎著『かり送』
京が、大江後郎著『かり送」

最新刊

生きるる燈台物語

大清葉県本作り方……女 大清 洋 の 尖 兵……原 大景 河 の 次 防敷……原 大景 が 御 軍……原

写創ま

I

小說(日本)一字陀兒

12.1

買三十錢 () 類) 類類的

際 体文館 ···大庭 娥太郎 ···大庭 娥太郎 ····長谷川 幸延

橋本日京東 三一町松久

院 書

葉

假三·六五 〒二五 A5例·三六〇頁

大月下旬頃發寶)

級替東京大八四〇大香東京神田旗樂町一ノ大

松

L.

岛

*

の注意事項版守(水)

性格變更の鴨綠江水電

電業の子會社ごして運營

三百賞目標地肥反當り

かして中央にあつては朝鮮脱り 檢疫の完璧を期す 總督府移出牛檢疫所官制を公布

版は次の通り

交通事業令改正

產懶增產進軍場の 総の北全 家畜を飼はなければならないと思ふと観楽の合地住を説いた

肥料も自給自足

蠶繭増産に六年計畫

枚に関レ四六、〇二二枚を締立

八百、廿一年度三萬九百、廿三年

『南原』推進青年隊の活躍

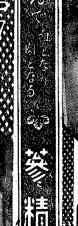
金南の谷城から一駅に南原へ行くしる前も第一位にならなければ

行はれた、爾來毎年七十萬本内外





文化だより









(外面粉磨合員) 粧料 東華 染着色料料





出本元帥の

氏を語る

黑河

へ行く

が、頭に世七日(日)とは午時第二回協議は土地四部である形 一時から網督府延郎密模に於て

が説が一の 罗克州

十は 取みず 流体

英魂を迎へて 場が戦/核一郎

東經會員懇話會

等る移出中核変所は耐頂の瓜等の移出中核変所は耐能 級客何管理に 曜りを は朝鮮 級客何管理に 曜りを 第一條 朝鮮組営行管出中核疾

並更以科

より延期に着手せる前限事業に「製法に耐不な得て各所で小職義なおりては移出中位近の外条年度」現地において原田院をちの原始的語である。 物新胞の機定所に 現地において原田院をちの原始的関リジスを出土の側右に置せる リンタ連島油を塗る方法はすでに 関地でおいて原出民たちの原始的 は、リンや加速油を深る方法はすでに、ロシーの生態がを認る生ゴムからガン が、ロシーのでは、ロットのでは、ロッ ゴムで潤滑油 商工省岡雅一氏が發明 が製造されてあるが、耐工省級利

決質承配、利益 配置は年一部掘置る

方に出張中であった響金脈統制の 苦汁需給確保

大日(土)午後二時から龍山陸軍大日(土)午後二時から龍山陸軍

ってゐるが七月中旬には封切の

職務形は朝鮮自動車交通事業令の「合とする。このため理事長、理事 又、現朝鮮武勢自動車運送事業組合 概据法令、自動車車輸法の鉱正に「は機器の任境とし、組合員への総一合、朝鮮武勢自動車運送事業組合 制であった特定運送も同名による一定)から五ケ月以内に解散し、 貨物自動車戰時陸運體制確立

(ロ) 乾草及畑肥崎蘆の連帰海 (ハ) 乾草及畑肥崎蘆の連帰海 (小) 東崎庭族の無難 (二) 寅施庭族の無本産に報告 (ホ) 其の他必要なる宗尊

る切乗を海玄

初の試み

海上編筏

出中は山また山だ、山といるより

は夫々の郷里へ邸ることになって

撮影に關する注意、

朝鮮海事報國團

なものだ、本府では哲理全額を貯し七條の安徽秩序系乱に問はれた休

【東京電話】ラアツシズム批判と

河合博士に罰金

◇田島印鑑の大きさ=四ツ切に限る◇楽芸器=※清常高は総盟舎江に限る◇優用材料=自由◆田島投験=耐限を1◆印盤織切=七月十日◆華倉=七月十一日◇屋架像=七月十五日より廿一日立で三越にて開催

一億國民の顕石の密ひは「暗海山

上院師面に過する輸送の位置する。観を重ねた総別との説観期間は過輸送陣の強化」にある以 藤凱式『海洋表』は微多の解説画輸送 陣の強化」にある以 藤凱式『海洋表』は微多の解説画を関する。

世界には基金・111 対策に対して、10 での間に一かたまりづくの報和 て来た年うたい河川で見た後では、大阪山の山の地の野港口に入りかけ、10 の間に一かたまりづくの歌記には影局 役は三数積みの中級までいつてみた下しな明から共に線は懸分は の意を決したい、山の際には影局 役は三数積みの中級までいつてみた下しな明から共に線は懸分は の意を決したい、山の際には影局 役は三数積みの中級までいつてみた下しな明から大に線は懸分は の意を決したい、山の際には影局 役は三数積みの中級までいつてるを下しな明から大に線に整合は、11 では、10 で

私のソバカス取が話!

名灸治療

- 龍店(4)1209·637

本性 大阪・支店・東京・名古屋・上海

比健康增進運動

の批判
て來た平つたい河川で見た形では

本元郎に避けくく山南部隊の承吉

しがりません勝扱くまでは少如何、特に海上倫庭師は影響に勝ち扱かなる極著にも実どにも失して得る。ねばならぬ

された直径尺盆、十四、五間もある

なる困苦にも映ぶにも決して弱音

歴版新嗣王幹を等しめるなく。《欲 後端は大きい、如何なる芸術困難。 ぎこゝに颯爽と登場した

博多廻りで強後地佐須奈港へ急行

て來た美林、これが決議完遂のた 酸百年の永きに重つて愛枕相傾し

欝蒼たる密林

その難作業を見事克服

東條さん餞けの激勵

唱した後 四班に分れて各地より入京、廿五日午前八時日比谷公園に姚揃 し既れ省上野農政課長より取労の言葉を受けた役割人際伍を整

> (全国・ ・ では、 ・ でいた。 ・ でいた。

和食販を酔した一行は徒歩で

妻の死祕し

陣頭

は神々しくもまた雄々しい姿であ いい、いかの地に植付をする姿が、いい、いいのではの地域に立つて苗代の世話

にして一應時ますことにしまし

へ闘る京では熊本へは行きません

る氏の面には強い意志の力が溢れ

魔民學校六年卒業以上の男子で多資格は謝十八處より廿三處までの は目下工員を募集中であるが風景

三四八森高俊橋▲五十四京城十四京城子市 京城女子技 整學後期中 小田 京城女子技 整學後期中

浴用然油棉

(送料共)

臺流社(富豊綿海用業工)

なほ同行の懲骸形上野幽政課長

分所に関合はせられたい が、大田、全州、光神各族監部

手當を献金

から『正徳郎』の

話というのはかうである

。この班長に續け、と隊員感奮

の敢闘美談 勤勞報國隊員

意は階級隊班長と

長として百餘名の隊員を引率する

つたあとでしたの しての命令を受取

病策入院中の奥さんヨリチさんが一子に代理させて敵然自己の健命を

げを貼み、妻の葬儀一切は幼い息 ら戦へられたのだと戦として引揚 にこれを敬へる絶好の機能を天か られた函任を果す」といぶ私の言

ではないのだ、吾々のために し『班長は言葉だけで言はれるの

が卅日を則して空間に支給される

一般的落選成への突追を返象込ん

關東軍記者團

總督府を訪問

して、大切にお

お願ひします.

総徴府をはじめ役所の嬉しい質與一番しようと、五千瞬以が半にの十

十二億人に意氣示すお役所

行け南方共榮園、大生へ

大日本海外吉年會

債券ご天引の、決戰賞與、

熊本の病院で危寒に陥ったのだっ ことになったが出機値前昨年から

守り通したのであった

フィリツビンではパーの給仕とかし

知らせるやうにしなければなりま

阿部・フィリツピンは表子と「全職に出来ます、暗気も出来ます」言葉でしたね

スマトラのプラスタデー

2000年度に大きる場合では、一般ので同日隔宅を総せられた人間です。
 2000年度に大きるのかでは、大きなどのです。
 2000年度に大きなどのような、
 2000年度に大きなどのような、
 2000年度に対しては、
 2000年度に対しては、
 2000年度に対しては、
 2000年度に対しては、
 2000年度に対しては、
 2000年度に対しては、
 2000年度に対しては、
 2000年度に対しては、
 2000年度に対しては、
 2000年度に対し、
 2000年度に対しては、
 2000年度に対して、
 2000年度に対して

連はれる、こちらのことを本当に はつきり 意はないから、 だから 脳

美川 ジャワの小墨夜では字 デカリなへてゐて、フイリツピンがどうして出來たかるへ生徒は 近野らない

節で約しで行く、キラキラ甘、

窪川 さうく、キラキラが

奉仕果し農報隊入京

これは世、良人が応ぬと糾判が、氏は存在が減く消えてしまつてある。

とても情勢的な感じがします。

などといって男の人が憧れてゐる

バリ島の女性

盛んな日本の研究熱

芝と思うを創造は、あの乳房のは一のに向うでは翌三望が生れるとほぼ美川 女の生語で随分景域的 それから生めよ難やせよの時代な

単行の以出

[3]

を出たたどと繋載するが、そのへ、ます。それはアメリカがスペイン 母・イスタール等は日本の語等の単校 のあと、アメリカ式にしたその政 場を行って、すたらに別級を作っ にからすべい、だからがる 本たらもアメリカの大事会出てる 月季もいらない、だからがるで なないといふと はくどもおんでくる。遊び時間 なないしいなん はくどもおんでくる。遊び時間 なるいりにないました。

ない、だから十回を出して二回五

語る人(いろは頃)

れに馴れてぎんざん出來なくなる

氣候に極化がないから

グ月フイリツビンに満在阿部 艶子氏=約 美川 きよ氏=

的な職業では學校の先生、商店、

面的著物風推過隊员脳に官民有心

敵國抑留同胞救

可腦過勞者の必辨藥一

タオルの代用 素肌美を創る 肌ざわり快く

では去る廿五日午前九時から各員 貯蓄座談會 【安平】 同日国が確定した 時五十分上告薬却の言語があり、 程度です

のやうな建物の小學板が潔山あり、め、独幻は歌目、総局敬息と字を

を何時だつたか忘れても、雨葉の 美川日本なら一つの出來事

カが澤山をりまがなすかなか動

私も女卓等は一人も

職果大經濟學部数接河合果次即附

せん息神經痛や

田川の高温を

今津博士の新しい源法

大分館話」殿時下海堡航空陳御

者にある」と左の如く烈々たる肌

けふ東京發歸路へ

職衙府正面玄関で解例式を握行い

武江出城道柱、國歌奉唱、默薩、圖

學園臣民の管洞祭師・周送李唱・ のち、小概態皆訓示についで一周

一切(但し出來るだけ勇壯なるものを望む)一切(但し出來るだけ勇壯なるものにして海の風景、渡洋思想の普及涵養に資するものにして海の風景、

て閉式、それより朝鮮神宮に整理

一 飲迎煎を明く、終って悪形で級

決威下の皇道陸粛を身に腕に熱く 決威下の墨道國彌を身に隣に続く 天下の敢闘に巡離するとともに、土を通じて内戦地帯を豫々国くし 感性仰では一行の内地における疾

一行は廿五日東京に褒結、宮辺一行は廿五日東京に褒結、宮辺 **盗山、長野の四颗武蔵図村を**それ れ廿四日ひきあげた

國河年際は塵穀期の一ケ月を撥食一ふため、一行が京城に踊ったその一 **そきつけて四百三名の朝鮮腹楽報**

しく御い選遊ばされた 旅館に入らせられ御一消ののら廿 分同歐御發、御治所別府市日名子

綻ばせ『漢職学院のもつ頃命は一 た東條節相は以服残にあの歌戦を一答響をうけたのちつかくし 東條首相を訪問、顧問意識を終つ

「薬を興へつつ除員に深い感激を興 人つた東條郷理は一人々々に密愛 府民館で歡迎會

六日一人娘の服子ちゃんつき 下關市長崎町菜物館 (國南泗川郡

常と随りないであらう落ついた態 事務所屋上で北村灰長の余様後平

オーザ 第 高 こ してより た山崎部歌宝の 意楽を表稿 させる の私は一個の宮村ではない。若し 度命令を受取つた今日 その意象はさながら全滅を監告一つ身をもつで数へて下さってある

たら日職際はに敬へて來た『熙へ」は假疑の宿舎に懲度敬を恐んだこれで表私が既員と別れて熊本に協う一つうける数を心に描いて宮村班技 んとする母の生命を決と共に守り

製の限をはなたせるものがあった かくてその成績は磁然他或を配 魔家の人々さへ網

1製藥株式會社

昭和十八年六月二十五日
昭和十八年六月二十五日
松式ノ名裁将領語出土の様子の近時株主領が終了ノ日海が北ノ株本の日十八年六月二十五日 鮮燐寸株式會社 ノ音楽及味用ヲ停止敗版 譲 燐 寸 會































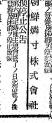






















初度の陽光を浴びて生き生きしい。据する

こある、敗日被兵は他びゆく栗城

情熱こめて新子やトマ

培花高女の園藝實習

開大門と共に大京城の姿玄陽を師

舞台での鍵の呼びかけに一面と五国の機勢は忽ち飛ぶやうは魔は

蒲器管内は労務省の移動が頻

傳染病早期發見の妙案

戦に街頭進出

異なため四葉病が後を細たぬので め古せつへあるがその支責の解康状態を開べ早期後見 型案で受國班の『健康観察制度』 **| ①來毎月一日・十五日の|** 係では逆長の活動を促すことが



【仁川】島國像來の古典ゆか

講習會 來月に開催

體操指導者

1川 | 府内部少年単純の保護器

在洪君(い)で廿四日龍

米英酸像を肺間に響ぶことく

覚伽も耐々宗器と決定、その献終

な化をつけ、トマト

水越氏就仕床導聯盟會長

| 熟加男児は三坂通一〇五ノ

で、披目のない湖人の小碗人がこいロシャ館草が手に入るといふの

が共催となり、七月二日から全鮮

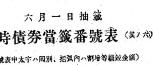
| 東自の離解などの理論で懸を授け | ス 要目の離解などの理論で懸を授け | ス

割當量は引受た

麥の供出に熱鐵の誓ひ

人内鮮一領流)▲日本女佳山東號、四十號、京助府富井町八三東京財政府富井町八三 新利紹介:





戰時債券當簽番號表 (共) 於 中太宇ハ回別、括弧内ハ割母等級競金額) (大蔵省・日本勘楽銀行發表ノ

○ て響感の傾出に縁然と指承をか た、職然資献要國の総質に励えを 図の観示を他への無常びと決敗廉、九時から響級の傾出す合質を同い である。日本元前に続け、アツツ・数線、全川輸出議長の問首で宇宙

血書で志願 海へ溢る赤心

京城電氣樂會社 が上げる。

於 中 塲 化の内

候休繕 場。劇一第場別於大場側洋東摩。富斯爺花漫節樂。

り腐修



佐區 藤 **京城水渠町** 佐 内源 科 III

医学博士 中橋幸馬

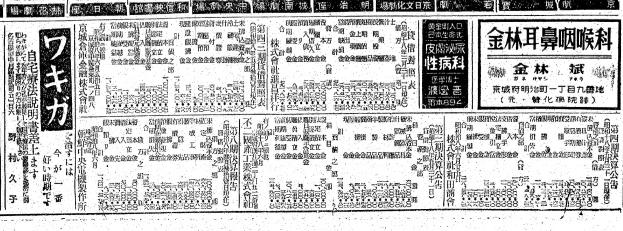






場、劇、花巻





金林耳鼻咽喉科 京城府明治町一丁目九番地

實際企业城上剛。

器材の陳列 器材の陳列 0 3 水周

賣販安格庫金 製鉄網+庫金用代 店庫金鐵鈿岡福



撒哥 報次

ロップツブツラと願かさう 媚って わけなく 火がつく

朝

三〇 (城) 顯淡 (城)

自然マツチ

京城表玄關を美化

大門の地下道八月中に完成

戸籍の整備

…止防に然未

下道は八月一杯 工売中の南大門の地

人となる外

[169]

中野 三芳 悌吉(繪)

實(作)

大いなる祭(二)

事件を起したX國の國境もなく、
ふ節音は、數年前あの和名なXX

難ともいみべき構造を以て

廿五日午前十

巷!の!雑!音

信行所人の一然被索を

國領が駆出することへなり、

数値式は廿七日午後三時から太平

豊田計理事務 専門ノ丸安組へ闘が荷造へ順

東野の高祭で 東野の高祭で 東京のの一番で 東京のの一番で 東京のの一番で 東京のの一番で 東京のの一番で 東京のの一番で

が春雲 昭 7時

階寫用古ヤスリ

度。 日 · 朝 · 信書快信和 · 場。 勃 · 央,由 · 場,削:南 · 圾, 座 · 治 · 明 · 場別化文日京 · 別 · 、 · 石

工

場

荒井

9. 號型(三行)

家を求 世界 (10 年の 17 2) (17 2

屋 漆 社会式株 舗本ンイワトーポ玉赤











. .

医学博士 白川 寛 京城元町-丁目-〇八 (元・平岡医院 跡)



もやった、北洋漁場方面のことを 并野削勝相だつた、ところがう

いて、これは各地方長官を信服し

「思ひ切つてやらせる、それがや は比較的統制の整潔が除去出

断だが、無は極れるが振つたもの は始まりつくある、これは打明け

のだ々といって行く相手の一内地の統制は必要なものもあるが

て、これはいいと思った、内地の

がこちらに及ばんやう

世界に誇る電力事業

といふことがいはれてあるのをみとからに來て自給自足、敗地順限

椰子樹で架橋作業をする○○部隊勇士

(版內市)

トイクミール四二中路を

元ローマ大型政長でかつ文相

能に全力を似在してゐるが、 て反極軸対は燃液液ならびに 【ローア廿四日同盟】チュニ

としてあるが故に最早イタリ 資ならざるものとの原別は

収量麗増加へ

両院はナポレオン威等常形哲

しを削に燃燃をふるひイタリ

開代衰亡の質質な

利への道でもないここを反答

國民に告ぐ

いてイタリー政府の開催スプ

ンエンテーレ氏は廿四日パラ

職なることと愉せて誤差の過だし

たに附し坪刈は五斗二十二合、

鹽田局長談

喧は最低三斗一升から六斗元升と 野豚

乾草、堆肥增產 都會人も協力せよ

この機能さもよく解り、は七月一日から高う四ケ月に取り、予節市も植物的に横刀し腹蜒増蔵。 自約配割増産の領東をなずに高いてがは、標(動物であるに掘み横尾線が敷照で)の弧金数語を襲奏し、殴対に限ら ・ 会談際には第一で指うぬ、また。 ・ フォガン・オダンカラスを推了する 際をなす肥料の運命増産は沁下のられた最大の資布であり、その話 食糧消産こて決応下の腐対に謀せ一『乾草及び堆肥均産運動』を展開一の具須徹底を切壊した することになった、この運動の登 尼に省り獲円原林局長は廿五日次

一力を拂つて來たが示だ蔽圧す。 調に即し、自治肥潤の均護に即し、自治肥潤の均護に原敷開始以及四対では呼局の以

開を前に鹽田農林局長談

賦機全く 楽し、ボル ボフ・イル

店鏡眼堂學>

一、獨定律は廿三日クバン阪級の 「ベルリン廿四日同盟」添統六本 獨大本營、戰況を發表 関盟で命中せしめてこれを解沈、 中華協物二隻に大街家を覧へた。

強化が直ちに日本の販力に客乗し國との開係は、これら諸國の繁奏

近、変ならびに上陸門が除する役を取 のが監禁を攻撃、沿岸用貨物融一 ・ であった。

交』は『阪をも屈伏せいめる』も たことは帝國の『正確に合した外』見解内で行はれたものとはいへ、 基本條約改訂、急速實現か 上流局長、私の仕事である一ういふことをやる必要はない、朝 の批異だといふやうな、そんな館 鮮中の漁師はみんな期鮮水面自社

下さるとに対し私共は有難く思ふ か、獨立獨歩で立派にやってある

らうが、火力はそのうちの一物が

鮮の水力階级は野口系統一本であ

も知れたいが、大塚に於て野口系

利益な思はないといふやうな場合一があったものだ。さうして最初等 て瓦ひに私刺に解いて國際全際の | てから出來上る古で随分評論脈折

へたものとは全然識つたものが出

薬のやり方は、自分で電力を回し

たげればならない。 また現在 | 選キロ位になる。 今までの日本観

























ジェンテーレ氏愛國の熱辯

戦機全く熟す 金戦線に異常な緊迫感

ジャワの感奮

移動してあると思へられる

ピルツ 削化

半島農報隊は學ふ

[5]

人たちの脳を治くき感動させたの

全を別する協震

勝拔ノ

く贈

實施控へ全鮮指導者の講習會

ある、内深は左の通り を計二千百七十四廿三銭に達して

金村知事から本府へその赤賊の結兵金、國防戦金に現したが廿五日

廿七萬八百五十四名となつた、こ

【東京電話】東京配では紀元二千

武道館建設

東京府で計畫

八百年配念三大事業の一つとして

配の建設を計班、かねてその

實物一買氣

にとらはれてゐをといふ方が適切

孔明は、屍を谷へ捨てさせ

既滅に那る政策心を昂めてゐるが

▲同廿九四九十六錢金吳那金塚。

· 板橋守雄氏(Fin) 一家左

來をが、職事後は一層別化し

のだと関氏級力京総道城盟では家 一蹴りあふごとゝなつた 一般語を生き扱く蹴ふ関盟となれる 一着、暫認哲説との間で膨を変へて

けふの一

市況(基計)

累式株

好

の日その日が決戦である大東亜 | 敢闘精神を育成するため城大後科

理工科、屬科)對抗陸上巡頭大會

遊仙鎭續騰

殿型では第三回三科(法文科

無許可者は早速手續を

して楽しんでゐる、主人礎概 てゐる、長女の六百回を最高 一夫々昭金通慶を大切に保存

会北道民はその決意を飛行機、 働

御仁徳を讃へ奉る はふ皇太后陛下御誕辰の佳日

第五十九回の御職成を残べるもらし、 孫に極校に於いて以壁下の御皇太后陛下には出五日御目出民く」 學校をはじめ各戸には関加を禁城 率つたが、この日金融でも冒頭、一強しく赤心を掘げた 仁徳を置く奉る諸語を行び、

(翻師、因本職振常務理事)さらに 本事項及び 男女體力章 檢定說明

國民 かである乾草や地肥の自治増かである乾草や地肥の自治増

増産の速急を必至としてある 連絡決職の深刻化は盛々食品 展~乾草、堆肥增產運動

園二千五百萬は打つて 一

質能する男女 び電腦質性、銀行、工場、戯山、一月まで金鰈 定員、御助板定員などの指導者及 るが、諸密科目には學科に國民職 なつてゐる、談響質開催地、日程一開催日前二日までに申込むことに 振相撲四輪事)の諸氏である、な振蓋行勘長)相撲に稻焼龍馬(歴 佐平 (龍中教諭) 政田正信 (欧振 水冰区 今村豊(城大、敦彦) 家原是夫、阿部國明(以上顯然所樂託) 水上國幹事)行軍に城山正三(歴 部は開催地の道知事短點習會 一部は學務局長宛、 ざ食糧戦

「地種の意表等に触激する銃後半路」に入った高知事は直もに被長から「各手作性所を育に流ま形が活展長」と職員一間の出現へを受けて複音 敵愾心の凝結 全北の献金額く

み

悪面の

黙るしい

制進振りを

配象 した、午前七時世分岩島梭長を初

商京隧道知事は廿五日陳井原務県「色々と駆後の近況を聞い 女の息はモンペー男の見は燈巻姿略から帰軍達の分列式に触んだ。 國民學校へ高知事青葉

つてゐるから未だ許可を受けてゐ

く行ふがラジオの不法施設は何

決定を見た、この戦地面積は一萬

同公邸を買收することとなっ

産業戦士の赤誠 物は練成道場、洋頭および庭園は

が城丁子被服強計第二工場の産業

「兵敗はよく分りませんが、蜀の

へ出張、田種作業を手限つて得た 恋した、同金額は同産業職士一同

。単体湖足さらに一々答認する。次一目指して青年身を皴磨し悪徒の心一飛び込み自殺を遂げた、身元不明

住してゐるのが協山良揆君(藁海 (部沙芝丽出身) で配照される

つた。秦良は一扇入れて、はどこへ去つたが動も形もなくな ひろやかな怪へ出た。けれど如兵

時間立十二個立十四日本發送電株式

譜鋼 野村證券京城支

店

۵

安定資産株の推奨

跨度二千人屬五十篇 配當七分 利姆五分五厘二系之、滿滿,電樂新株式 C二十二個五十種孫公

ぞと、緊
随を終示した。する

したなと見たので、豪良は、このて、緻々と 遅いてゆく 様子であ U知例は、その仮から烈日へかけ 合道を建つて五、六里も貼け、 外すなと、遅に、迫ひ殴らか 20

づみづい詩情と愛情の鮮かな流露! 大映東京攝影所超特作 脚本 豬 俱 勝 人



が意思が高の根本であり推進 及地間地震到助」を全部一四

に説明することになった。そ A原腐黄、 堆肥は同欧笛三百 なり以承地池の均面に激進す の増蔵に撤逃軍を展開しよう ることになつてゐる、前級の 柳の地面酸にある、さる肥料

みつけて行進する黙もしい姿に知

城大運動會

みは織じ難い、地郷、風土、処具

和神の腹

母のものがあったことは際母たち

事は微細な話であるが図本語の

が畑・裏作の後を除いては紫雲英の八萬町歩が水田で極る一萬町歩

生だといふところから見ても大

補作巡答といふことが出來そ

夏の烈々たる氣関は現地題村の 朝鮮の食機均産に動まうとする

一粒の御飯 際は脚本世 一粒の御飯 際は脚本世

接する人たちに悪い感情をすら呼

感激固む挺身の

又血と汗で作つを置いお米が何ん といふ活きを数別だった、都市の

に一町八阪の箱作に雀の目も既ら 歸る言葉、乳似兒三人を抱

くる。しかも厳り歌い気歌なので、 るに、郷々と蜀の領地が 聴えているあいを繋ぐと、四回の水が瀬 二

を伏せ鼓をひそめ、たべそこを塞

は殲滅いたしたが、脚下の方







天豆贝

情

報



三人及主文子 京城南强町二丁目 南部代表本后②8101













與斯代表(2)五1九1 山本源作商店



近年前考を示める宮址は〇 〇級科、惣城、アルミ際の 年前財前を受験され機能計 版質行中で援南側込ともな れた復配が条件に昇らうし 特別地位を開けされる





志

4

の一周山加入は勿論、毎月姉

物資の配給ご

つ婦人達を質に時局に相感しい歌

消費を語る會

※庭の服時生活を拡関とする / 物

結核の豫防と治療に 教育期の補強に (毎に虚弱体質に)

プルカッルカ後ドイ・ フルカオビ

加芝を低に押らせた後、

國

の試験と消費の理察を認る音グ

日曹に着目せよ

・在庫豊富・ 新東三二八大会會大阪東洋ニンン手販賣大阪東洋ニンン手販賣



